

対象器種	FHT-42501-PS	FHT-44500-PS	< Hf インバーター-S > “高調波ガイドライン適合品”
------	--------------	--------------	--

適合ランプ	東芝高周波点灯専用蛍光ランプ“メロウライン”(FHF32)
-------	-------------------------------

このたびは東芝蛍光灯器具をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
この器具は電子安定器を採用しておりますので、電源周波数に関係なくご使用できます。

●素人工事は法律で禁じられております。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

●工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

工事店様へ

施工上のご注意

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。		
●器具の取り付けは、取扱説明書に従い天井の丈夫なところに取り付けてください。薄い天井板(1cm以下)や弱い天井などに取り付けますとねじ止めが弱く、振動などで器具落下の原因となります。	●電源線接続の際は、 ③ 器具本体の取り付け ② に従って確実に行なってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因になります。	●アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行なってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。
●器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。器具落下、感電、火災等の原因となります。	●この器具は、腐食性ガス雰囲気場所には使用できません。そのまま使用しますと、変質、変色、絶縁不良、器具落下の原因となります。	●アース工事 ●改造 ●腐食性ガス

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。		
●この器具は屋内専用で、5°C~35°Cの範囲で使用するように設計してあります。屋外や湿気、水気のある場所で使用しますと、湿気の侵入による絶縁不良、感電の原因になります。	●器具に表示された電源電圧(定格電圧±6%以内)以外の電圧でご使用しないでください。間違えて使用しますとランプ、安定器などの短寿命、火災の原因となります。(器具の定格電圧と電源電圧は器具を取付ける前に必ず確認してください。)	●温度 屋外 ●電源電圧

●お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

お客様へ

使用上のご注意

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。		
●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。	●ランプや器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすい物を近づけたりしないでください。火災の原因になります。	●可燃物
●ランプの端部が黒ずんだり、暗くなった時は、早めに交換してください。ランプ交換の際は、“メロウライン”(FHF32)と指定ください。間違った種類・ワット(W)数のランプを使用した場合は、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。(電源を入れた状態でランプ交換を行うと、ランプが点灯しない場合があります。)	●適合ランプ	●ランプ交換などにより、カバー、ランプなどを外し、再度取り付ける場合は、取扱説明書に従って行ってください。取り付けに不備がありますと器具落下の原因となります。

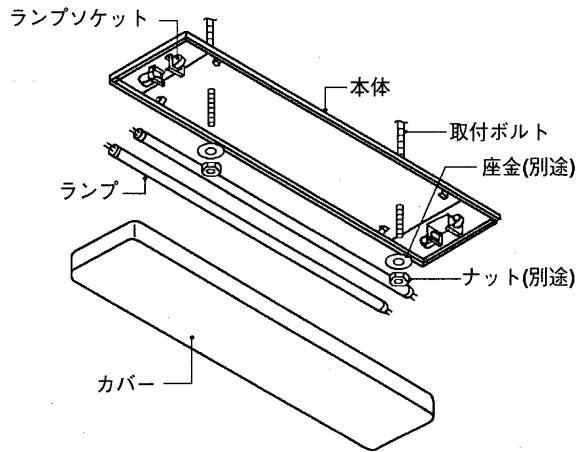
⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。		
●器具を洗剤、薬品で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。器具の破損、落下、感電の原因となります。	●器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布か、水で浸したやわらかい布をよく絞ってから拭いてください。	●金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり腐食の原因となります。
●器具を清掃する際は、ソケット等の樹脂部には、水、洗剤、薬品などは使用しないでください。部品の劣化や感電の原因になります。	●ランプを清掃する際はランプを器具から外して乾いた布で拭いてください。	●金属部分

●この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、環境により異なりますが約10年です。(定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。)

⚠ お願い

- ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。
- 間引き点灯の場合は、分岐回路をもうけ、そのスイッチで消灯してください。

■各部のなまえ



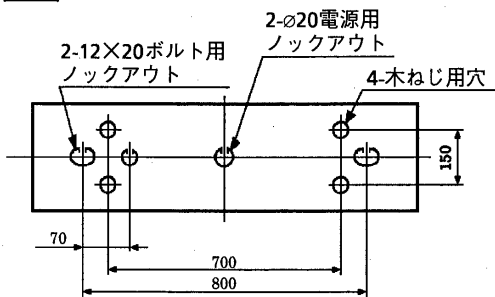
■ 本体とカバーの組合せ表
(本体・カバーは別梱包・別売です。)

組合せ形名	質量 (Kg)	本体形名	カバー形名
FHT-42503K-PS	8.0	FHT-42501-PS	C-4202
FHT-42504K-PS	7.5		C-4203
FHT-42511K-PS	8.0		C-4210
FHT-44501K-PS	12.0	FHT-44500-PS	C-4401
FHT-44502K-PS	14.0		C-4402

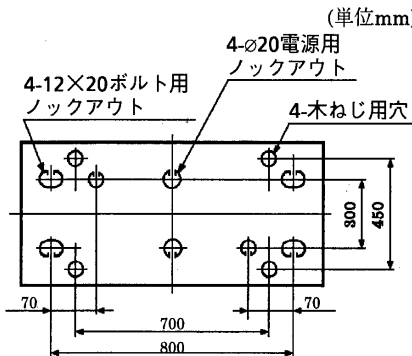
この取扱説明書は同種類の蛍光灯器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図がちがっている場合があります。

■器具の取り付けかた

1 器具の取り付け寸法



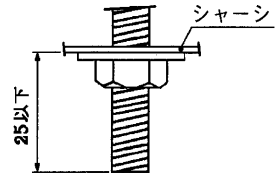
2灯用の場合



4灯用の場合

2 インサートボルトの器具内寸法

インサートボルトが長いと影が見ることがありますので、インサートボルトは器具内で25mm以下にしてください。



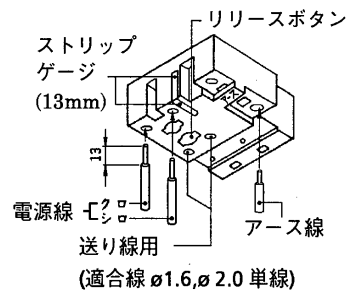
3 器具本体の取り付け

- ① 本体を取付ボルトおよび木ねじで確実に取り付けてください。(取付ボルトはW3/8またはM10を使用し座金を必ず入れてください。)(木ねじは丸木ねじの呼び4.1を使用してください。)

不備がありますと、器具落下の原因となります。

- ② 電源線、アース線を端子台に確実に差し込んでください。
不完全な場合は、接続不良による発熱、火災、感電の原因となります。

- ③ ランプを全数確実に取り付けてください。



4 カバーの取り付けかた・はずしかた

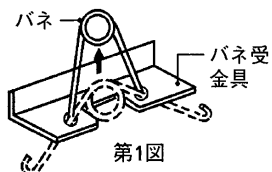
カバーを取り付ける場合

- ① バネをバネ受金具より引き出してください。(第1図)
- ② バネを指で支え本体の取付金具に引っ掛けてください。(第2図・第3図)
- ③ バネ全数を取付金具に確実に引っ掛けた後、両手でカバーの枠を軽く天井面に押し上げてください。(第4図)

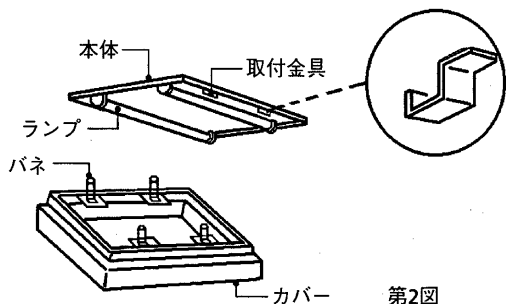
不備がありますと、カバー落下の原因となります。

カバーをはずす場合

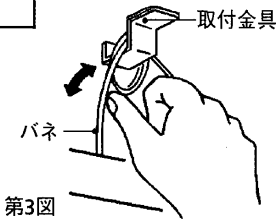
- ① カバーの側面中央部(注意ラベル貼付付近)を両手でつかんでそのまま、まっすぐに引き下げてください。(第4図)
- ② バネを指先で押し上げ、取付金具よりはずしてください。(第2図・第3図)



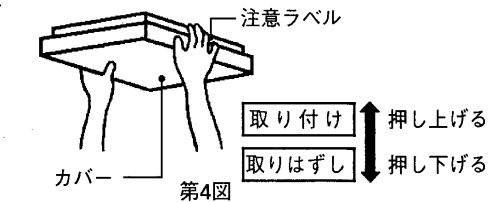
第1図



第2図



第3図



第4図

取り付け ↑ 押し上げる
取りはずし ↓ 押し下げる

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買いあげの販売店(工事店) またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。
なお、ご相談されるときは器具の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

東芝ライテック株式会社 施設・HID事業部 〒140-8660 東京都品川区南品川2-2-13 (南品川JNビル) TEL(03)5463-8768

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

(001Y611)A

<生産完了 2007年01月31日>
C-4402 (2/2)